



2025年4月16日

ブルーカーゴ株式会社

(第89回) 3月度安全衛生委員会

開催日 2025年4月16日(水) 11:00~12:00

開催場所 NTN 三重製作所第一会議室

- 1) 全員唱和 (渡部泰広)
- 2) 開会の挨拶 (安全管理者)
- 3) 3月発生事故検証 (対象関係推進員)
- 4) 報告・審議事項
 - ①NTN 三重製作所安全衛生委員会要旨報告 (衛生管理者)
 - ②安全パトロール報告 (衛生管理者)
 - ③各部署別安全取り組み結果及び計画 (各推進員)
 - ④ヒヤリ・ハット体験状況報告 (各推進員)
 - ⑤労働災害統計報告 (衛生管理者)
 - ⑥安全管理者・衛生管理者 報告
 - ・安全管理体制変更、2025年度安全衛生管理計画 (衛生管理者)
 - ・2024年度健康診断結果 (衛生管理者)
 - ・2024年度物流事故総括 (衛生管理者)
 - ・2025年度春季清掃活動実施計画 (衛生管理者)
 - ⑦その他 (要望、意見、連絡等)
 - ・制服変更に関する質問
- 5) 次回 4月度(第90回) 安全衛生委員会開催日予定
5月7日(水) 11:00~12:00 第三会議室
- 6) 閉会のことば (総括安全衛生管理者)

安全管理の基本理念

- 1)安全は全てに優先する。
- 2)安全なくして生産なし
- 3)生産なくして会社の繁栄なし
- 4)会社の繁栄なくして従業員の幸せなし
- 5)安全管理の原点は人間愛と責任感である

安全監督者管理の5大任務

- 1)安全衛生の確保
- 2)品質の維持向上
- 3)生産目標の達成と納期の厳守
- 4)原価低減
- 5)職場の人間関係の向上

平成30年1月6日

”ご安全に”

(事業場)

三重製作所

ローラー工場

労働災害報告書

(重大HHT) (重大HHT)

社長



(株)新生エンジニアリング

白石智光



A 災害状況の把握

1) 通報(L-11号) (年 月 日)

2) 報告(L-11-12号) (年 月 日)

① 災害発生日時・場所・作業等の概要

② 被災者の特性

A(年月日) 年 月 日 '25 2 10	B(曜日) 平日	C(種別) 平日	D(時間:24H表示) 時 分 11 : 20	E(時間帯) 定時内	F(天候) 晴れ	B 氏名	C(性別)	D(年齢)	E(勤続) 年 月 日	F(経験) 年 月 日
G(課・職場) コンプレッサ室	H(場所) 社内・場内	I(作業区分) 業務・非常	G 生年 月 日 (西暦) 年 月 日	J(夜勤)	K(入社) 月 日 (西暦) 年 月 日	N(現住所・TEL) TEL()	M(雇用区分)	O(安全衛生に係る資格・教育・職務)	P 職場経験 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日 ~ 年 月 日
J(起因物)	K(加害物)	L(被災時の作業)	N(現住所・TEL) TEL()	M(雇用区分)	O(安全衛生に係る資格・教育・職務)	P 職場経験 年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日 ~ 年 月 日	年 月 日 ~ 年 月 日
N(事故の型) 崩壊・倒壊	O(被災者) 白石智光	M() 作業								

③ 傷病の内容・程度・処置

A(部位)	D(処置方法)
B(性質)	I(医療機関・主治医・付き添い者名および所見)
C(程度) (障害 軽見込) 見込み 日間	E(診断書)
F(休業期間) 月 日 ~ 月 日	G(療日日数) 日
H(診断書) 日	

⑤ (通報発信時、安全衛生主務課長指示)

④ 災害の発生状況

- ① 出来るだけ簡潔に記入する。
- ② SWITHで出来るだけ簡潔に具体的な事実を記入する。
- ③ 事実であれば被災者の心理状態の記入は可、但し否定的に書かないこと。

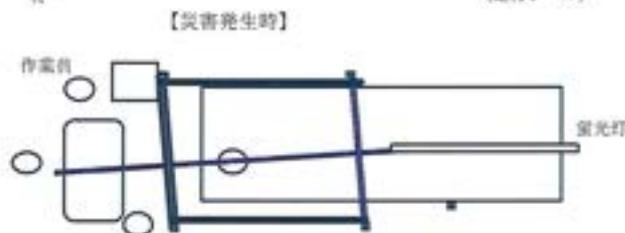
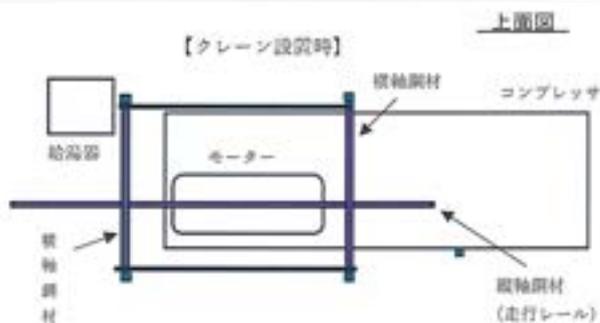
- 土井産業(株)の作業員3名が、コンプレッサ室内で1号機エアコンプレッサのモーター取外しのため、コンプレッサの外袋カバー取外し作業をしていた。
- (株)中野機工の作業員4名が、コンプレッサの周囲に4本の支柱を立て、そこに横軸鋼材、縦軸鋼材を取り付け(クレーン設置)作業をしていた。
- モーター吊り上げのため、走行レールにチェーンブロックを取付し、モーターを垂直に吊り上げ、掘出側へ横引きした。
- モーター横引きを走行レールの張り出し部まで行った際、クレーン支柱のバランスがモーター荷重側に崩れて、クレーンが反り返った。
- 反り返ったクレーンの走行レールがコンプレッサ上部の蛍光灯に接触すると共に、傾いた支柱が給油器に接触した。

2024年6月に同様の作業をしていたが、作業記録が不十分であり且つ前回作業にあたった人員が派遣出来ていなかった。

事故発生後、NTNへの報告は11:55頃だった。



⑥ 現場見取図および組織図



組織
元請 (株)新生エンジニアリング
→1次 土井産業(株) 作業員3名
→2次 中野機工(株) 作業員4名

管理・監督者 (社長) 白石智光

B	災害防止	(日時) 20 年 月 日 : ~ :	(出席者)
		(場所)	

① 問題の分析			
No.	分析項目	判定・評価	No. 分析項目 判定・評価
1	災害要因の区分		5 作業標準書 ()
2	問題点の広がり	人 人・物 台・場所	6 ヒヤリ・ハット体験 収集・登録 ()
3	問題発生経過		7 過去の同種・類似 災害とその措置状況 (いつ頃)
4	法規等に照らして問題		

② 災害原因 “災害の発生状況”にもとづき災害原因を 原因追求の方法・要因分析を行なう。
人・物・作業および管理の面から記入すること。生産技術課、作業主任、産業医等専門家の意見も求める。

区分	No.	内容	区分	No.	内容
人	①		作業	①	
	②			②	
	③			③	
	④			④	
物	①		管理	①	
	②			②	
	③			③	
	④			④	

③ 同種・類似災害防止対策

①当該課長は、実施の方法を具体的に検討のうえ、速やかに措置すること。
②実施経過は、様式1-1・2・3号および添付資料にまとめて、安全主務課に報告すること。
③安全主務課は、対策状況を確認のうえ、事業場長もしくは工場長に報告すること。

災害原因 区分 No.	改善対策項目 (なにを)	時期 (いつまでに)	誰が (誰に)	実施の方法・内容 (どこで、どのように)	リスクレベル		フォロー・確認		
					対策前	対策後	完了日	管理監督者印	安全管理者印
	クレーン上部横軸鋼材	月 日 2 28	新生E	スリングベルト、レバーブロックを用い、コンプレッサ下部に固定 モーター搬出側2点、反搬出側4点			月 日		
	クレーン	月 日 2 28	新生E	モーター搬出側へ転倒防止用として新たに、門型支柱を設置 クレーン組立後、作業者全員で安全確認を実施			月 日		
	作業前安全確認	月 日 2 28	新生E	事前に現場確認を実施し、作業計画を立て、NTN工事担当者へ提出			月 日		
	作業中	月 日 2 28	新生E	作業中の安全監視担当員(役割を認識している者に限る)を1名設置			月 日		
	作業中	月 日 2 28	新生E	クレーン設置状況、作業方法を記録し、関係会社で共有し、人員に変更があっても同様な作業を実施			月 日		
	安全教育・訓練	月 日	新生E	安全管理の特別教育を受講(判断が出来る人材育成)。受講者から作業者への内容を周知し、半年毎にミーティングを実施			月 日		
	事故や問題発生時の対応	月 日	新生E	事故や問題発生時は安全を確保した後、速やかにNTN工事担当者へ報告			月 日		

コメント _____ _____ _____	コメント _____ _____ _____	改善対策完了の最終承認 総括安全衛生管理者印 _____ 本社安全主務課長印 _____
総括安全衛生管理者コメント		④

コンプレッサ モーター搬出工事で発生した事故の報告

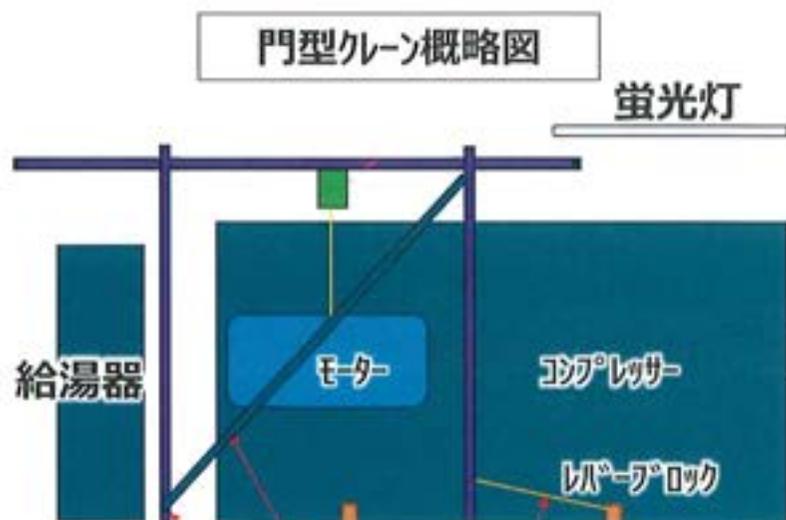
事故の経緯

コンプレッサ1号機のモーターで異常振動が発生。

2/10(月) モーターを修理に出す為、工事業者によって取り外し搬出工事を行っていた。

工事内容：

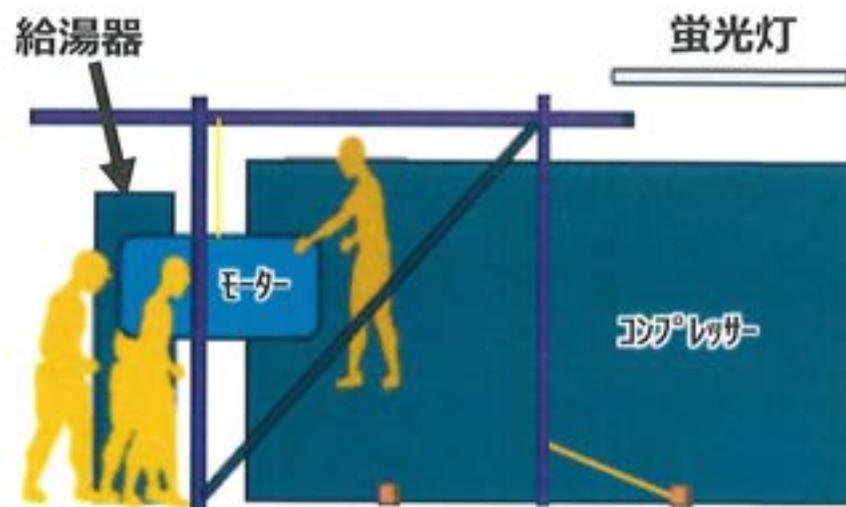
仮設の門型クレーンを設置し、
モーター吊り上げ、レールを横引き、
設備外部までモーターを移動させた後、室外へ搬出



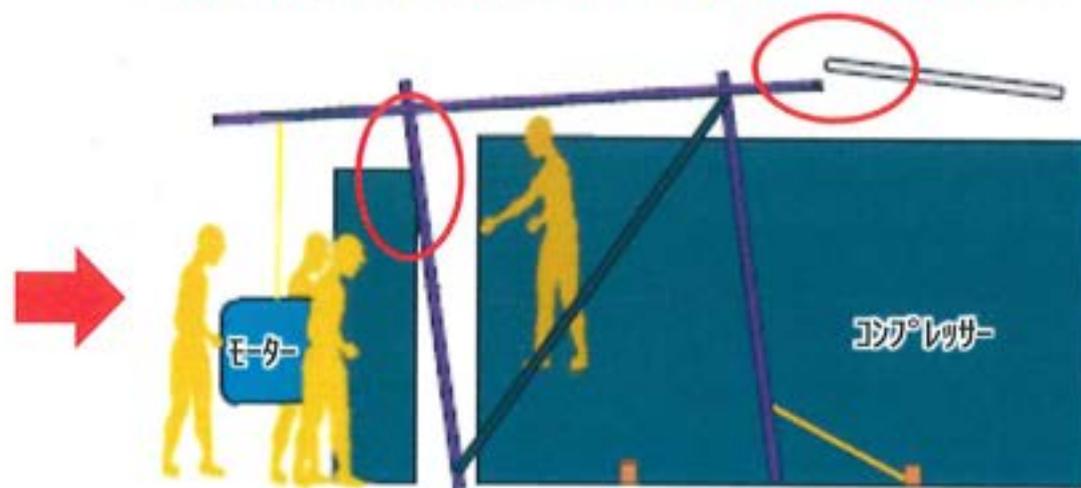
コンプレッサ モーター搬出工事で発生した事故の報告

事故の発生状況

モーターを吊り上げ横引きし、機外に出たあたりで、重心のバランスが崩れ、門型クレーンが傾いた。
クレーンが傾いた際に、クレーン支柱と給湯器、蛍光灯が接触し、給湯器の外箱がへこみ、蛍光灯が割れた。



クレーンが傾いた際に、給湯器、蛍光灯と接触し破損



コンプレッサ モーター搬出工事で発生した事故の報告

破損部の写真

給湯器

かたむき



外箱へこみ



蛍光灯

割れ、変形



コンプレッサ モーター搬出工事で発生した事故の報告

発生原因

1. 門型クレーンの構造

吊り荷を横引きした際に支柱の外に出る構造であり、重心が不安定。

支柱の内1本はバールブロックによって固定していたが、転倒防止措置としては不十分。



バールブロックによる支柱の固定

2. 工事計画

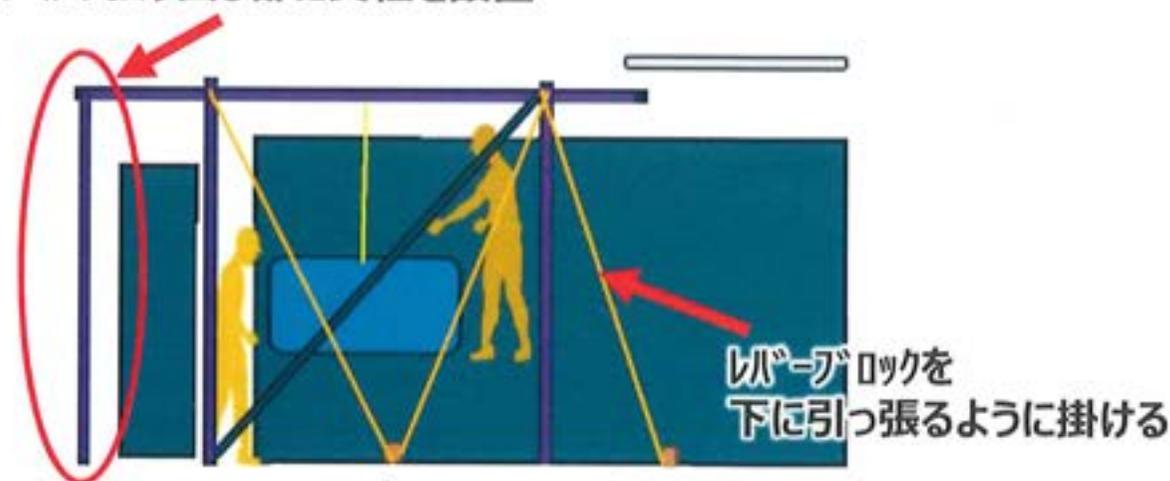
2024年6月にも同様の工事を行ったが、当時の作業員が退職し引き継ぎが行われておらず、今回工事の作業員は作業内容、危険箇所を十分に理解していなかった。

コンプレッサ モーター搬出工事で発生した事故の報告

再発防止策（工事業者側の対策）

- 1.横引きレールの張り出し部に新たに支柱を設置し、外重心とならない構造に変更
- 2.レバーブロックを縦に掛け、浮き上がりを防止(左右6カ所)
- 3.事前に現場下見を行い、作業計画を立て計画書を作成する
- 4.工事中は安全監視員を設置する
- 5.作業の記録を残し、人が替わっても同じ作業が出来るようにする

レールの張り出し部に支柱を設置



コンプレッサ モーター搬出工事で発生した事故の報告

再発防止策（NTN三重 工事担当者側の対策）

・事故の発生を防げなかった要因

作業の細かな部分は工事業者に任せきりとしてしまい、
作業方法や使用する器具等の構造、使用方法までは把握していなかった。

・再発防止対策

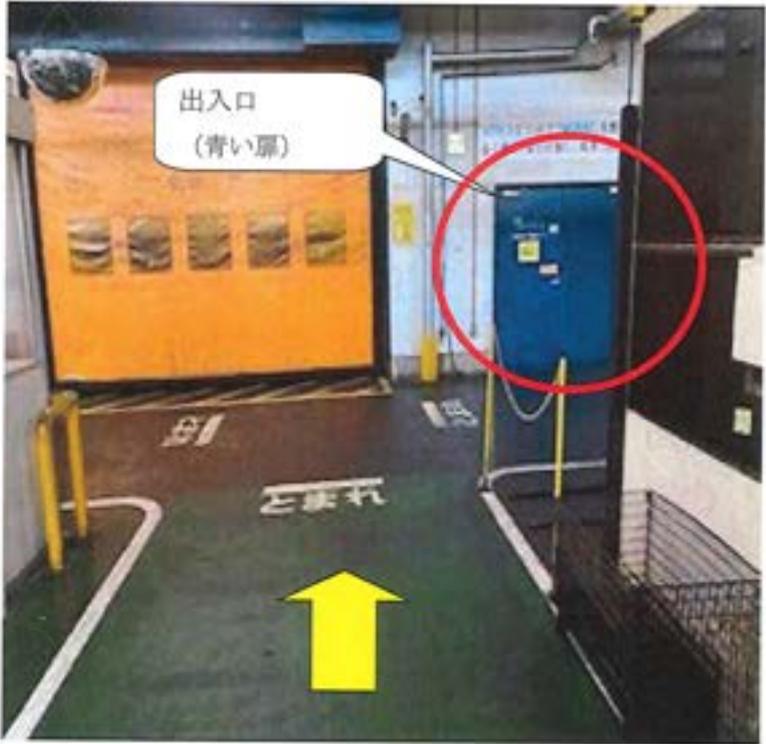
外部業者によって行う重量物を扱う工事については、事前の下見や打合せ、
工事計画書の提出などによって、工事の手順や方法まで把握し、危険が無い事を
確認する。

・工事計画書の提出範囲（案）

外部業者による重量物を扱う工事については、工事計画書による安全確認を継続するが、
本事案発生の原因と対策を社内周知することで、社内の人員のみで行う工事までは含まない。

総括安全衛生管理者	管理部長	安全管理者	部門長	課長	作成者
川端	青木	伊藤	伊藤	安立 川井	古橋

HHT 発生連絡

(いつ) 発生日時	2025年3月17日(月) 16:03頃
(何処で) 発生場所	軸受工場 メイン通路 出入口 (軸受工場と食堂及び2階へ向かう階段との出入口)
誰が) 被災者	
何をしていた) 業務内容	退社時 (場内からロッカールームに移動中)
(どうなった) 被災状況	右膝 (ひざ) 脛 (すね) の軽度の打ち身
(災害状況) 発生経緯	<p>① 被災者は業務終了後、写真1の出入口 (青い扉) に同僚と会話しながら向かい、前工程課 小型研削係区横のメイン通路を通りT字交差点を通過しようとした。</p> <p>(写真1)</p> 

② T字交差点の「とまれ」で一時停止し、指差呼称を行い通過後、T字交差点横に停車していたリフトの爪（写真2手前の爪）に気づかず右足を引っ掛けて転倒した。

（写真2）



※リフトの爪が20cm程上がっていた。

※被災者は転倒時、右側から崩れるように右肘、右膝の順で転倒した。

※被災者は転倒した翌日に班長へ連絡をした。

<要因>

- ・被災者は指差呼称を行ったが、対象物を確認出来ていなかった。
- ・「とまれ」で一時停止していたつもりだが、しっかりと止まりきっていなかった。
- ・リフトの停止位置が適切ではない。
- ・リフト停止時、爪が下がりきっていなかった。

<対策>

- ・停止位置での確実な停止、指差呼称の再教育実施、周知徹底。
- ・リフトを停止する場合は歩行者の妨げにならない位置で必ず爪を下して停止するように周知徹底。

(安全・環境管理課からの指示事項)

指示事項	指差し呼称は、対象物(この場合、周囲の状況)を目で見 て確認することが重要です。また交差点では必ず停止し 確認すること。 <u>ポケハン</u> しっかり止まって指差確認！ また、怪我の程度に関わらず、怪我をしたことや HHT が 発生した場合は直ぐに上司へ報告すること！
------	--

【情報指示経路】 課長 ⇒ 係長 ⇒ 班長 ⇒ 課員

127期 事業場安全衛生委員会/労使安全パトロール/交通災害防止委員会/請負業務業者協議会 日程表

	事業場安全衛生委員会	労使安全パトロール	交通災害防止委員会	請負業務業者協議会
時間	15:00～16:00	9:30～10:45	15:00～16:00	14:00～15:00
場所	軸受工場 第1会議室	軸受工場 食堂集合 →パトロール後に第1会議室	軸受工場 第2会議室	軸受工場 第1会議室
日程	4月17日	4月9日		4月24日
	5月22日	5月7日	5月8日	5月29日
	6月19日	6月4日		6月26日
	7月17日	7月2日		7月24日
	8月21日	8月6日	8月7日	8月28日
	9月18日	9月3日		9月25日
	10月16日	10月1日	10月2日	10月23日
	11月20日	11月5日		11月27日
	12月18日	12月3日		12月25日
	1月22日	1月7日	1月8日	1月29日
	2月19日	2月4日		2月26日
	3月19日	3月4日		3月26日

2025年4月度 安全パトロール実施結果

①日時:2025年4月3日(木)

時間:午後1:30~2:30

立会責任者:福田課長

実施者:西村

②日時:2025年4月16日(水)

時間:午後1:00~2:00

立会責任者:福田課長

実施者:西村

No.	ハザード (危険源)	危険・有害状態の洗い出し	リスクアセスメント(上段:対策前/下段:対策後)						
			リスクの見積り			リスクポイント	リスクレベル	指令番号	優先順位
1	<リフト課出荷場> 出荷場	梱包箱(HA)パレットが置場指示域(黄色枠)を外れて置かれており、死角になる通行者①とリフト②がニアミス接触ヒヤリになりそうであった。	5	2	4	11	II	無	1
								-	-
			責任者		納期		対策完了日		
			福田課長		4月25日				
			対策後写真						
  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>①: 通行者はシャッター側へ移動 ②: リフトが出荷場へ接近 ○ 置場指示</p> </div>									

チェック項目	ここがポイント	配点	記事
1 一旦停止1	停まれ位置で、3秒間 一旦停止しているか？	10	合格
2 一旦停止2	一旦停止後 始動時に、左右確認を指差呼称しているか？	10	合格
3 ながら禁止	リフト爪の上昇・下降とリフト走行の前進・後進の「同時(ながら)」作業をしていないか？	0	カウンターリフトで、爪下降と後進旋回の同時作業していた。その場で注意指導した。
4 後進後方確認	リフト後進時に、指差呼称で後方確認しているか？	0	カウンターリフトで後進時に、後方を確認していなかった。その場で注意指導した。
5 爪高さ確保	リフトの爪高さを地上から10~15cm程上げているか？	10	合格
6 バックレスト後傾	リフトのバックレストを後傾しているか？(約6°)	10	合格
7 爪飛び出し	リフト爪先がパレット・カゴ等から飛び出していないか？	10	合格
8 カウンター優先	カウンターとリーチが同時作業する際、カウンター優先が徹底されているか？	10	合格
9 作業安全確保	リフトに作業者が接近していないか？	0	RAにて指摘
10 急の付く作業禁止	急旋回・急停止・急発進していないか？	10	合格
合計		70	

各部署の月間安全取組

4月16日 安全衛生委員会

	3月				4月		
	前月の目標	取り組んだ内容	結果	安全会議	今月の目標	取り組み内容	安全会議
	目標	実際に行ったこと	目標のが達成できたのか、未達の場合はどうしてか？	実施日	具体的内容に絞って目標を決める。	目標にそった具体的内容で、確認や安全、基本動作等漠然とした言葉は使わない	予定
例	不安定な荷物は積み直す。	重心が高い、滑り易いものはリフト運搬前に積み直しを行う。	声掛けがしっかり出来事故ゼロ	1/1	不安定な荷物は積み直す。	重心が高い、滑り易いものはリフト運搬前に積み直しを行う。	2/1
輸送	引き続き、事故ゼロ安全作業	リフト作業中、前後左右を目で見て確認	一件の事故が起きてしまった。	3/21	慌てず、焦らず、一息ついて慎重に！	リフト作業は、遅れても良いので、慎重に行う。	4/18
リフト	爪先での作業の際は、爪の出しすぎに注意する。	目視や爪のラインで適正な位置を確認できた。	事故ゼロ	3/20	一旦停止場所での確実な停止	停止は3秒止まり、動作始動時に指差呼称を行う。	4/16
青山	荷台や作業場に板木などがあるので、足元を確認して作業する。	荷台に昇ったら、『足元確認ヨシ！』と指差呼称して唱和する。	唱和は毎日実施したが、実際に作業は70%程しかできなかった。	3/26	荷台の足元を確認して作業する。	前回(3月度目標)の唱和を実施し、重要性をその時に一言加える。	4/17

2024年度 健康診断 事業所カルテまとめ

2025年4月16日
衛生管理者 西村寿洋

『事業所カルテ』とは、全国健康保険協会（協会けんぽ）が当社従業員の健診結果を取りまとめたものであり、2024年度の従業員の健診結果と健康状況を知った上で新年度の健康改善と向上に向けて取り組み発信していくものである。概要は以下のとおりであるが、詳細は別紙資料を参照願う。

(1) 表の見方…結果は協会けんぽ全国平均及び同協会三重支部平均との比較を記号にて記載

【○】…全国・三重と比較して優位

【△】…全国・三重と比較して同位

【×】…全国・三重と比較して劣位

(2) 結果および総括

- ・健診率や指導率は優秀であり、今後も継続推進を図る。
- ・生活習慣病のリスクにおいては、**血圧リスク保有率が高い。**
- ・生活習慣改善である、①適度な運動 ②食生活の充実 ③禁煙・適度な飲酒 ④十分な睡眠と休養について、指導改善を図る。

1. 医療費の状況	
1) 一人当たりの医療費	○
2) メタボリックシンドロームの該当率	○
3) メタボリックシンドロームの予備軍該当率	○
4) 特定保健指導該当率	○
2. 健診・特定保健指導の状況	
1) 特定健診（生活習慣病及び事業者健診）受診率	○
2) 被扶養者（ご家族）の健診受診率	○
3) 特定保健指導実施率（初回）	○
4) 特定保健指導実施率（評価）	○
3. 生活習慣病リスク保有者の割合	
1) 腹囲リスク保有率	○
2) 血圧リスク保有率	×
3) 代謝（血糖）リスク保有率	○
4) 脂質リスク保有率	○
5) 肝機能リスク保有率	○
4. 生活習慣要改善者の割合	
1) 1回30分以上の汗をかく運動 週2日以上、1年以上	×
2) 歩行1日1時間以上	○
3) 歩く速度が速い者の割合	×
4) 就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回以上	×
5) 3食以外に間食や甘い飲み物を摂取	×
6) 朝食を抜くことが週に3回以上	△
7) 喫煙習慣がある者	△
8) お酒を毎日飲む者の割合	×
9) 飲酒量が1日あたり3合以上	○
10) 睡眠休養が十分取れていない者	×

以上

ヒヤリ・ハット体験状況 2025年 3月度

No	種類	発生日	場所・状況	職種	作業	ヒヤリハット体験状況(どのような作業で・何を使用した時・どうなったのか)
1	挟まれヒヤリ	3月18日	クレーン	青山	クレーン作業	バー材積み込み作業で、スリングベルトとバー材の間に手袋を挟まれ抜けなくなり、ヒヤリとした。二人作業であったが、声掛けで直ぐに気づいてもらい、作業中断したが事なきを得た。
2	接触ヒヤリ	3月28日	SF前シャッター	リフト	ハンドリフト運搬	ハンドリフトでテーバーへ段ボール運搬中、SF前のシートシャッターが風にあおられ、急に通路側へ膨らんで接触しそうになりヒヤリとした。
3	転倒ヒヤリ	3月28日	NTN三重出荷場	輸送	リフト運搬	W1をリフトでトラックに荷役中、重量物によりW1の底板が変形し膨らんでいたため、運搬の際にくらつき転倒しそうになりヒヤリとした。
4	落下ヒヤリ	3月19日	東伸三重	輸送	リフト運搬	鉄コン2段をリフトで掲げようとした時、「ガチャン！」と音がしたので荷物周辺を確認したら、鉄コンの蓋のロックピンが外れていてヒヤリとした。
5	転倒ヒヤリ	3月	全般 (前野段ボール)	輸送	リフト運搬	パレットを床に降ろしながらリフトを後退させた。爪がパレットに引っ掛かり少し浮いて転倒しそうになりヒヤリとした。リフト後退と爪下降の同時(ながら)作業はしない。
6	衝突ヒヤリ	2月中旬	全般 (R1採女坂)	輸送	トラック輸送	走行車線を走行中、追い越し車線を逆走車が走ってきたので、ヒヤリとした。
7	追突ヒヤリ	3月21日	全般	輸送	トラック輸送	前方車両のブレーキランプが切れており、追突しそうになりヒヤリとした。車間距離は十分に確保し、「……かもしれない」運転を心掛ける。
8						
9						
10						

転倒ヒヤリ(2件)、接触ヒヤリ(1件)、衝突ヒヤリ(1件)、落下ヒヤリ(1件)、追突ヒヤリ(1件)、挟まれヒヤリ(1件)

後方確認！



ながら(同時作業)危ない！



ハンドル操作とレバーを
一緒に動かすと危ない！！

ツメの根本まで荷物をあてる！



段差ではゆっくり走行！



段差がある場所はゆっくり走行

2024 年度(3月)事業場別労働災害統計報告書

正規社員・外部社員

月 度	事業場	月末 在籍 人数	延 労 働 時間数	災害発生件数						一時不能日数 (離日休業日数)				処置の方法		労働損 失日数	千人率			度数率			強度率		
				不 休 業	各休業日区分件数			全労災 合計	各休業日区分日数				外部 医療 機関	診療所 医務室 社内治 療	不休業 災害		休業 災害	全 災害	不休業 災害	休業 災害	全 災害				
					1日～ 3日	4日 以上	障害		休業 合計	合計	1日～ 3日	4日～ 以上										合計		障害	
					A (人)	B (日)	C (件)		D (件)		E (件)	F (件)										G (日)		H (日)	J (日)
3 月 度	給油	1	64.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	輸送	16	2,430.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	リフト	19	2,884.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	派遣 NTN三重製作所	5	792.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	派遣 ウチダ	2	320.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	一般	8	1,011.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	段ボール	4	373.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	青山	2	317.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	57	8,191.5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

薬箱確認 出荷場(3/28)・本社(3/28)・青山(3/28)

感染状況等	3月	2021年8月から累計
新型コロナ感染者	1	36
新型コロナ濃厚接触者	0	16
インフルエンザ感染者	0	
合計	1	52

部署	事故発生日	起算日	延人数	無事故時間 起算日～当月15日
給油		R5.3.16	23	1,530.5
輸送	R7.1.17	R7.1.18	16	2,779.0
リフト	R7.1.21	R7.1.22	19	3,180.0
段ボール	R8.8.14	R8.8.15	29	2,741.5
青山		R5.3.16	49	7,548.0
合計			136	17,779.0

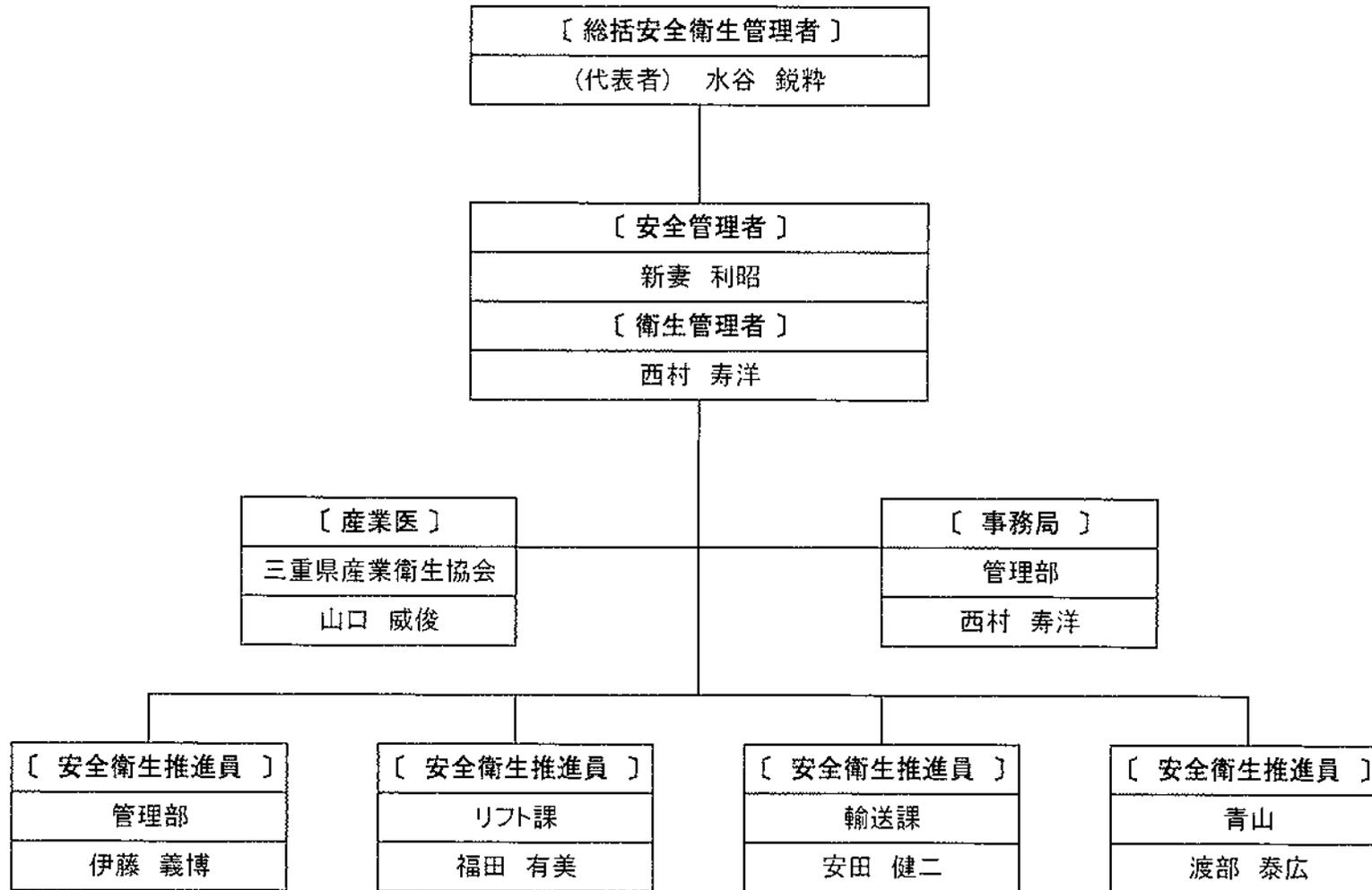
会社全体	事故発生日	起算日	延人数	無事故時間 起算日～当月15日
無事故時間	R7.1.21	R7.1.22	114	17,354
無災害時間	R5.2.20	R5.3.16	1,508	237,259

※無災害時間の起算日は本来R5.2.21ですが集計の関係上R5.3.16にしています。

※BC-R4-27(2023年2月20日発生)

重量物持ち上げによる腰痛(脊髄圧迫骨折)

ブルーカーゴ株式会社 安全衛生管理体制組織図



2025年度（2025年4月1日～2026年3月31日）ブルーカーゴ(株)安全衛生管理計画書

2025年3月28日作成
管理課 西村寿洋

安全衛生管理方針	安全はすべてに優先する。 1.挨拶と笑顔！！ ゆとりの気持ちで安全輸送 2.職場三原則 (一)時を守る (二)場を清める (三)例をただす の順守 3.「整理・整頓・清掃」の実行 4.ヒヤットした事は、皆で共有
安全衛生目標	1. 労働災害ゼロ…ゼロ達成の継続 2. 物損事故を前年比10%削減…全体24件⇒20件（輸送18件⇒16件、リフト5件⇒4件、他1件⇒0件） 3. 生活習慣病リスク保有率（血圧）の改善…61.9%⇒50%以下、（三重支部46.3%、全国58.5%）
安全衛生の課題 危険性又は有害性の特定	昨期発生事故の原因を分析すると、何れも危険予知不足とヒューマンエラーによるものが多い。 2025年度はヒヤリハット（HHT）の水平展開と危険予知活動（KYT）の活性化を強力に推進し、物損事故・労働災害の低減を図る。 また、定期健康診断の中で、高血圧者率が高いので、健康衛生指導により健康管理向上の推進を図る。

	担当区分	役職名	氏名
安全衛生管理体制	総括安全衛生管理者	代表取締役	水谷 鏡幹
	安全管理者	業務・物流部部長	新妻 利昭
	衛生管理者	管理部	西村 寿洋
	安全衛生担当者	輸送課長	安田 健二
	安全衛生担当者	リフト課長	福田 有英
	安全衛生担当者	管理部	伊藤 義博
	安全衛生担当者	青山特殊印刷職場	渡部 泰広
	産業医	三重県産業衛生協会	山口 威俊

21

重点施策	実施項目	担当	目標（年間の実行時期・回数等）	スケジュール													実施上の留意点	備考		
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
安全衛生管理体制確立	安全衛生委員会の開催	社長	1回/月																法に基づく委員会の運営	従来は活動休止
	職場巡回安全パトロール実施	西村・課長	2回/月																安全・衛生リスクの抽出、5S・指差呼称の推進	NTN三重・青山特殊・本社倉庫
安全衛生教育計画	新入社員・異動者教育	伊藤・熊本	都度																新入社員入社時、異動者開始時の導入研修	基本事項の教育
	事故発生者再教育	伊藤・西村	都度																重大事故発生者の再教育	再発防止教育
	安全衛生教育	伊藤・西村	1回/月																月安全会議時に実施	
	部門別安全会議開催	新妻部長・福田課長・渡部	1回/月																リフト・輸送安全会議開催、青山はリフト安全会議出席、テーマに沿った事故後対応策を協議	KYT・處理原則・発生事故の対応、安全衛生情報
安全衛生活動強化	事故発生者のリボン着脱運動	各課長	都度																事故発生者への1か月啓発リボン着用	指差呼称の励行
	リスクアセスメント等に基づく改善・啓発の取組	新妻部長・福田課長・安田課長	随時																安全パトロールでの指差事項の対応及び輸送安全会議でのHHT収集	危険度や発生可能性の高い内容
	リフト運搬適性テストの実施	西村	2回/年																各機登録およびパレット運搬時のリフト運行注意教育	ロジスネクスト申請時に実施
	ストレンスチェックの実施	山本主任	1回/年																ストレンスチェック調査(9月)	
定期自主検査計画	トラックタイヤ・空気圧・ボルト緩みチェック	整備管理者	1回/月																空気圧測定及びタイヤナット緩みチェック	チェック表記載
	特定自主検査(フォークリフト)	新妻部長	1回/年																各車庫ごとの年次点検で、外部委託会社にて実施	
年間行事計画	全国安全・衛生週間活動、交通安全運動	伊藤・西村	準備期間含む 活動期間																中要務・安全衛生課、保・ポスター掲示・朝礼展開	各安全会議で啓発
	夏季・冬季の健康管理	山本主任	夏、冬季																啓発・空調服・塩飴・防寒具・熱中症・感染症 手洗い・うがい・マスク・換気の励行	
	従業員総会・安全大会	社長	2回/年																従業員総会開催…7/5、1/10	会社主催の定例
	従業員健康診断実施	社長	4月																定期健康診断	有償見守管理
	特検健康診断の実施	社長	定期4月全員																後期者(10月)に特検検診	
	作業環境測定の実施	伊藤	1・5・9月																気温・湿度・照度の測定実施	安全衛生委員会でも結果報告
	KYTカードの活用・対策	各課長	3回/年																従業員によるKYT抽出	各安全会議で実施
	NTN三重製作業協賛者協議会の出席	新妻部長	1回/月																NTN三重との安全衛生管理項目の共有推進	安全衛生担当者出席

2024年度 健康診断 事業所カルテまとめ

2025年4月16日

衛生管理者 西村寿洋

『事業所カルテ』とは、全国健康保険協会（協会けんぽ）が当社従業員の健診結果を取りまとめたものであり、2024年度の従業員の健診結果と健康状況を知った上で新年度の健康改善と向上に向けて取り組み発信していくものである。概要は以下のとおりであるが、詳細は別紙資料を参照願う。

(1) 表の見方…結果は協会けんぽ全国平均及び同協会三重支部平均との比較を記号にて記載

【○】…全国・三重と比較して優位

【△】…全国・三重と比較して同位

【×】…全国・三重と比較して劣位

(2) 結果および総括

- ・健診率や指導率は優秀であり、今後も継続推進図る。
- ・生活習慣病のリスクにおいては、血圧リスク補修率が高い。
- ・生活習慣改善である、①適度な運動 ②食生活の充実 ③禁煙・適度な飲酒 ④十分な睡眠と休養について、指導改善を図る。

1. 医療費の状況	
1) 一人当たりの医療費	○
2) メタボリックシンドロームの該当率	○
3) メタボリックシンドロームの予備軍該当率	○
4) 特定保健指導該当率	○
2. 健診・特定保健指導の状況	
1) 特定健診（生活習慣病及び事業者健診）受診率	○
2) 被扶養者（ご家族）の健診受診率	○
3) 特定保健指導実施率（初回）	○
4) 特定保健指導実施率（評価）	○
3. 生活習慣病リスク保有者の割合	
1) 腹囲リスク保有率	○
2) 血圧リスク保有率	×
3) 代謝（血糖）リスク保有率	○
4) 脂質リスク保有率	○
5) 肝機能リスク保有率	○
4. 生活習慣要改善者の割合	
1) 1回30分以上の汗をかく運動 週2日以上、1年以上	×
2) 歩行1日1時間以上	○
3) 歩く速度が速い者の割合	×
4) 就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回以上	×
5) 3食以外に間食や甘い飲み物を摂取	×
6) 朝食を抜くことが週に3回以上	△
7) 喫煙習慣がある者	△
8) お酒を毎日飲む者の割合	×
9) 飲酒量が1日あたり3合以上	○
10) 睡眠休養が十分取れていない者	×

以上

事業所カルテ

令和6年9月現在の情報をもとに作成しています。

事業所名称	ブルーカーゴ株式会社 様	(32280414)
業 態	道路貨物運送業	

1. 医療費等の状況

生活習慣病は、国民医療費にも大きな影響を与えており、その多くは、メタボリックシンドロームが原因であるといわれています。メタボリックシンドロームは、日常生活の中で適度な運動、バランスの取れた食生活、禁煙等を実践することによって予防することができるものです。

日常の運動習慣や食習慣に普段から気を付けることの積み重ねが、健康づくりや健康寿命の延伸、医療費の適正化につながります。

1人当たり医療費

対象：全被保険者



メタボリックシンドロームの該当状況



特定保健指導の該当状況

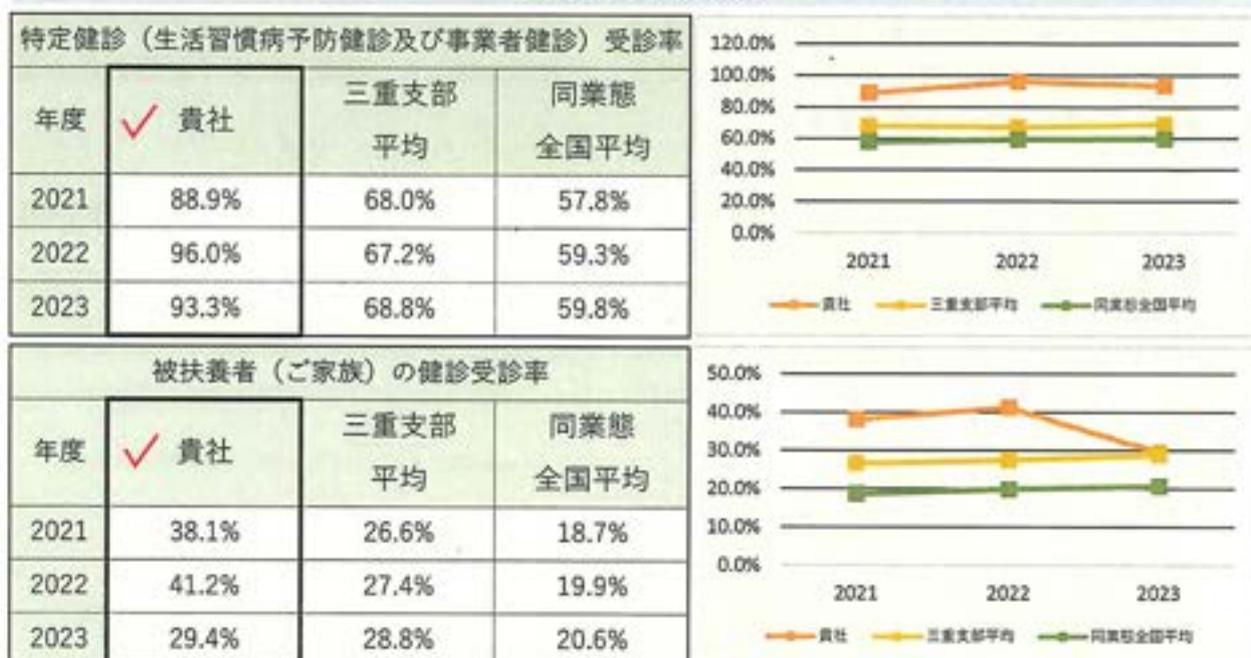


2. 健診・特定保健指導の状況

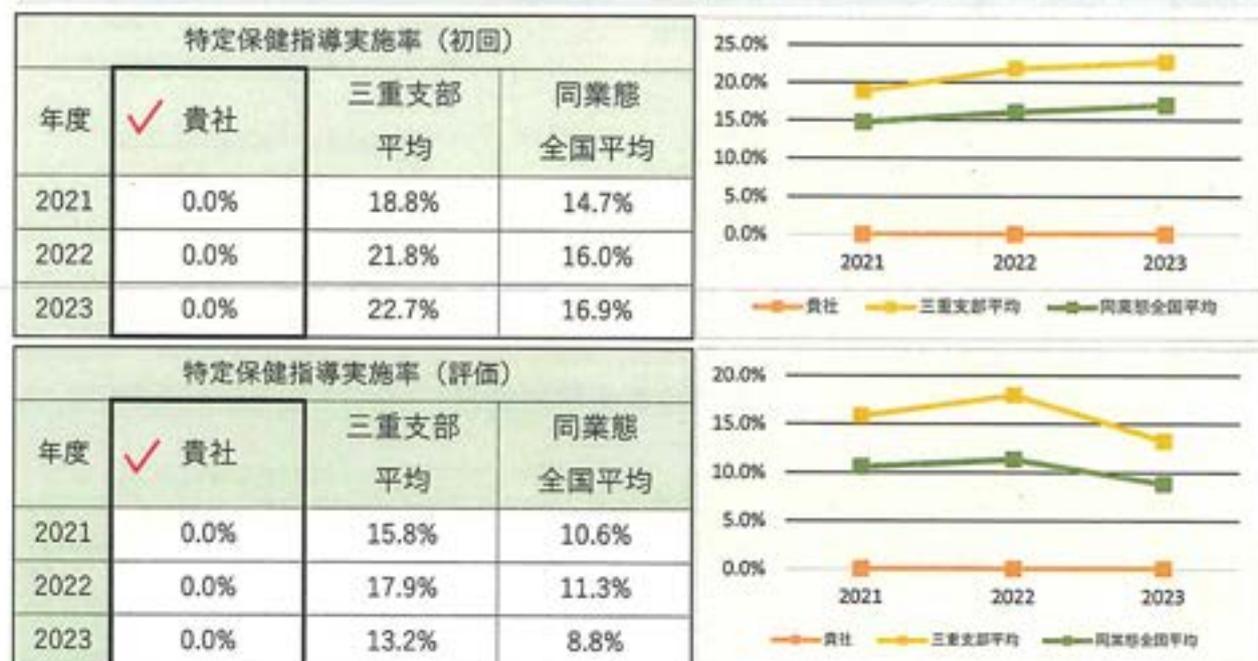
健診は自ら健康状態を理解して生活習慣を振り返る絶好の機会です。協会けんぽでは、生活習慣病の予防（早期発見）のために、メタボリックシンドロームに着目した健診を行っています。

また、健診の結果から、生活習慣の改善が必要な方に対して、健康づくりの専門家である保健師・管理栄養士等が生活習慣を見直すサポート（特定保健指導）を行っています。

健診の実施状況



特定保健指導の実施状況

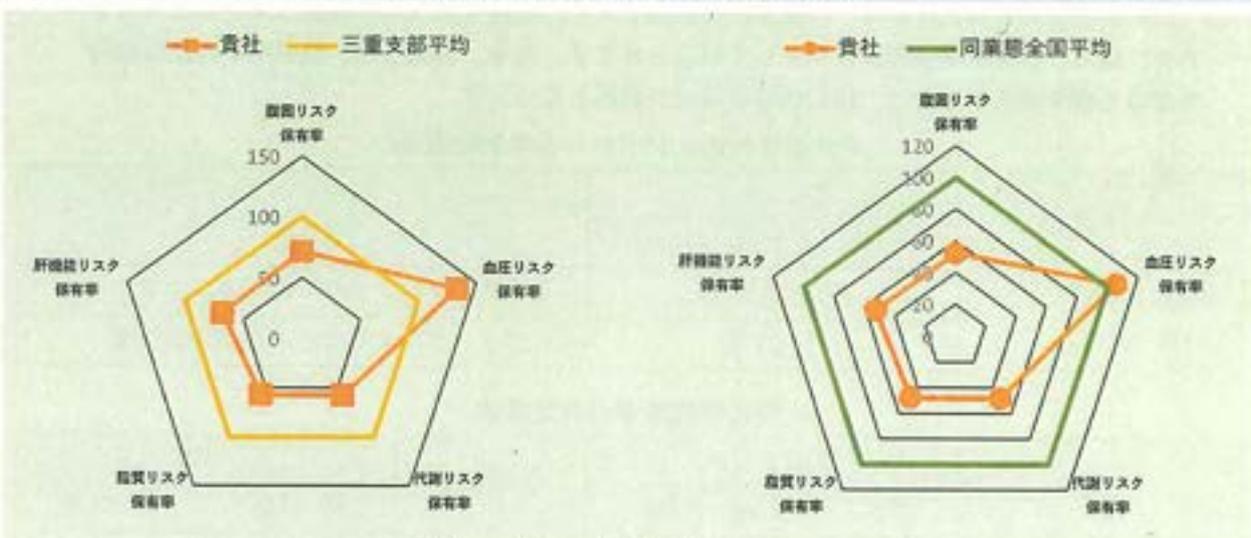


3. 生活習慣病リスク保有者の割合及び生活習慣要改善者の割合

健診項目である5項目（腹囲、血圧、代謝、脂質、肝機能）、問診項目である5項目（運動、食事、喫煙、飲酒、睡眠）に関する状況を示しています。貴社の現状（特徴）の把握や、健康づくりのきっかけとしてご活用ください。

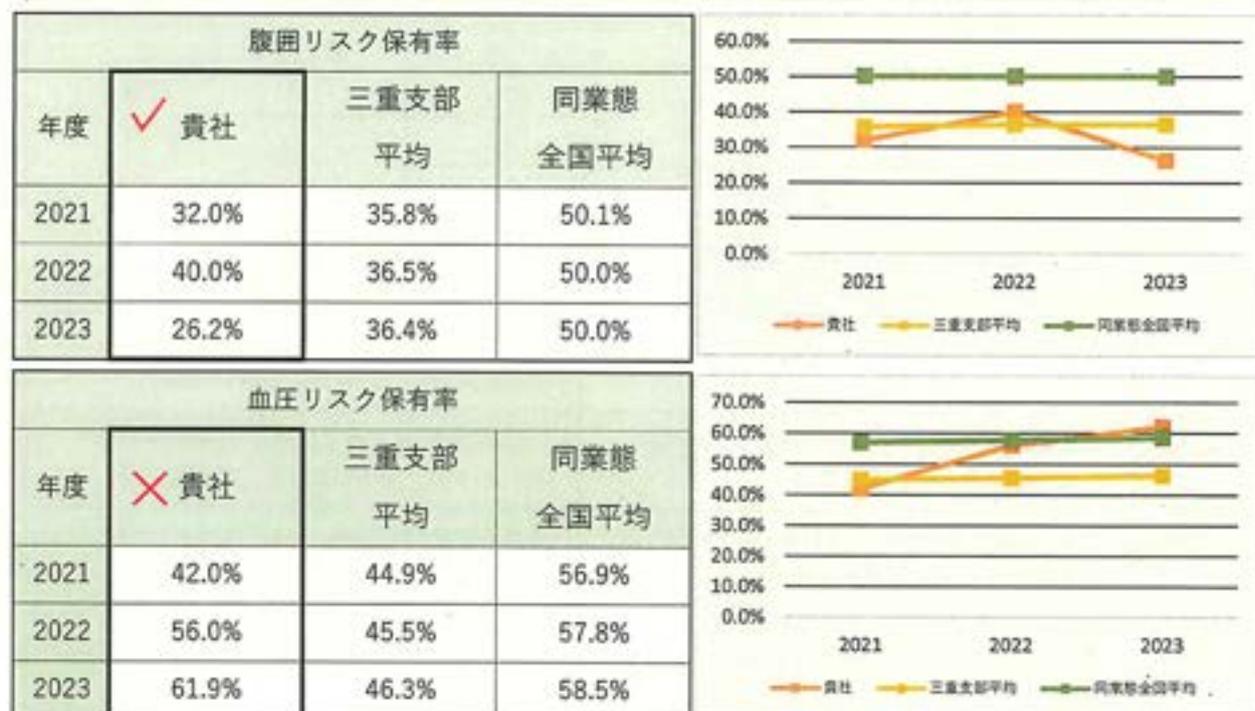
また、協会けんぽでは、事業所の健康づくりを支援する健康宣言に取り組んでいます。健康宣言については、11ページをご覧ください。

生活習慣病リスク保有者の割合



割合は小さい方が良い状態です。

「支部内（都道府県内）の事業所の平均」及び「同業態の事業所の全国平均」を100とした場合の御社の相対的な立ち位置(相対値)を示しております。





【各リスクの判定基準】

○腹囲リスク

- ・内臓脂肪面積が100.0cm²以上又は腹囲が、男性は85cm以上、女性は90cm以上に該当する者

○血圧リスク

- ・収縮期130mmHg以上又は拡張期85mmHg以上又は服薬ありに該当する者

○代謝（血糖）リスク

- ・空腹時血糖110mg/dL以上又はHbA1c6.0%以上又は服薬ありに該当する者

○脂質リスク

- ・中性脂肪150mg/dL以上又はHDLコレステロール40mg/dL未満又は服薬ありに該当する者

○肝機能リスク

- ・GOT31U/L以上又はGPT31U/L以上又はγ-GT51U/L以上に該当する者

生活習慣要改善者の割合

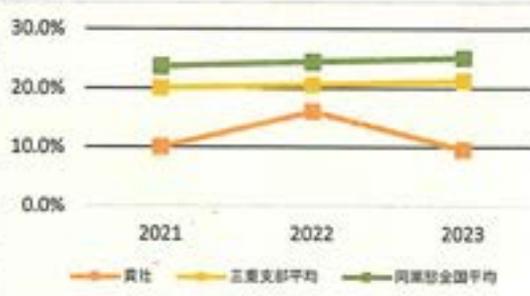
＜運動習慣＞



割合は、大きい方が良い状態です。

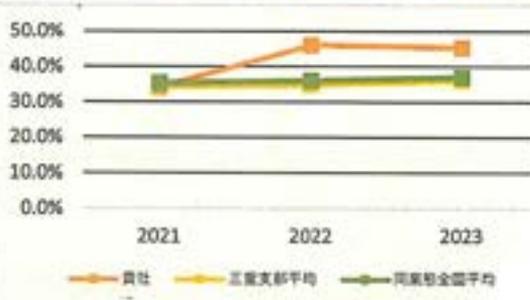
①10分30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している者の割合

年度	貴社	三重支部平均	同業態全国平均
2021	10.0%	20.1%	23.7%
2022	16.0%	20.5%	24.4%
2023	9.5%	21.2%	25.1%



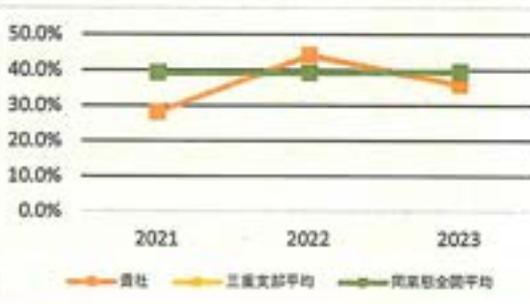
②日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している者の割合

年度	貴社	三重支部平均	同業態全国平均
2021	34.0%	34.3%	35.2%
2022	46.0%	34.9%	36.0%
2023	45.2%	36.1%	37.0%



③ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い者の割合

年度	貴社	三重支部平均	同業態全国平均
2021	28.0%	39.2%	39.2%
2022	44.0%	39.2%	39.2%
2023	35.7%	39.5%	39.5%



【運動習慣のポイント】

- 適度な運動は、骨を丈夫にし、筋肉を強化することはもちろん、運動により消費エネルギーが増えるので、肥満の予防・改善につながります。また、適度な運動には、高血圧や糖尿病、動脈硬化に対する直接的な予防・改善効果もあります。他にも心肺機能を高める、ストレス解消になる、良い睡眠につながるなど、健康な方にも、様々な効果が期待できます。
- 日常生活で行う動作に、ちょっとした工夫を加えるだけで、運動量を増やすことができます。

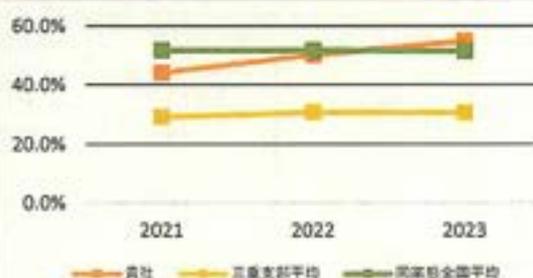
＜食事習慣＞



割合は、小さい方が良い状態です。

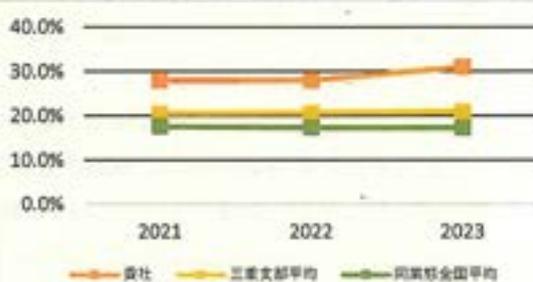
①就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある者の割合

年度	貴社	三重支部平均	同業態全国平均
2021	44.0%	29.0%	51.6%
2022	50.0%	30.5%	51.6%
2023	54.8%	30.4%	51.3%



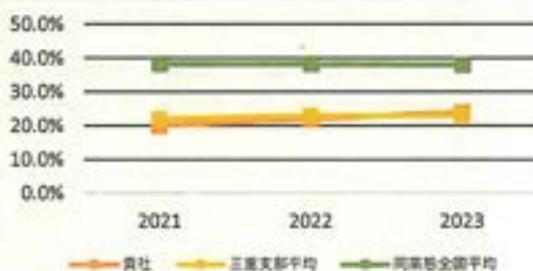
②朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を毎日摂取している者の割合

年度	貴社	三重支部平均	同業態全国平均
2021	28.0%	20.5%	17.5%
2022	28.0%	20.6%	17.2%
2023	31.0%	20.9%	17.2%



③朝食を抜くことが週に3回以上ある者の割合

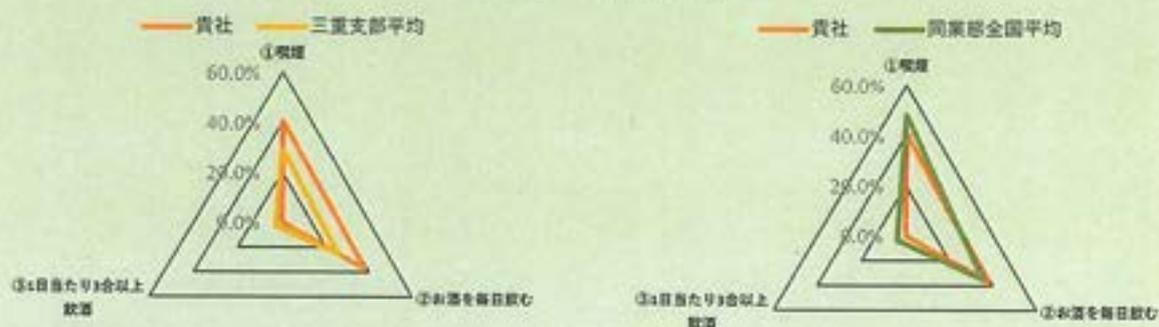
年度	貴社	三重支部平均	同業態全国平均
2021	20.0%	21.9%	38.2%
2022	22.0%	22.9%	38.2%
2023	23.8%	22.9%	37.9%



【食事習慣のポイント】

- 野菜はなるべく、1日に350g以上とりましょう。また、野菜を先に食べることで、糖分の吸収がゆるやかになり、血糖値が上昇しにくいこともわかっています。
- 塩分のとりすぎに注意しましょう。塩分は1日男性7.5g未満、女性6.5g未満の摂取が適量です。また、すでに高血圧が疑われている人は、1日6g未満にしましょう。
- 油を大量に使った食事はなるべく控えましょう。
- ゆっくりとよく噛む食習慣の実践により、生活習慣病の改善や、肥満や糖尿病のリスクを低下できると言われています。

＜喫煙・飲酒習慣＞



割合は、小さい方が良い状態です。



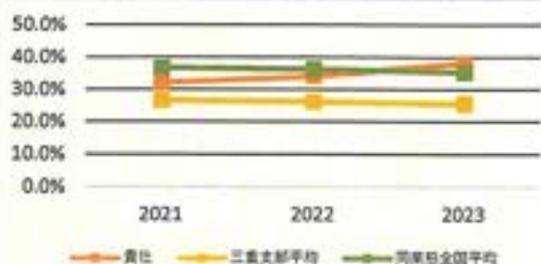
【特定保健指導と喫煙習慣について】

- 喫煙習慣の有無は、特定保健指導の対象者を判定する基準の一つです。
- 特定保健指導の判定基準は、腹囲並びに血圧リスク、血糖リスク及び脂質リスクの3つのリスクに加え、喫煙歴を追加リスクとして判定されます。（詳細は5ページをご覧ください。）

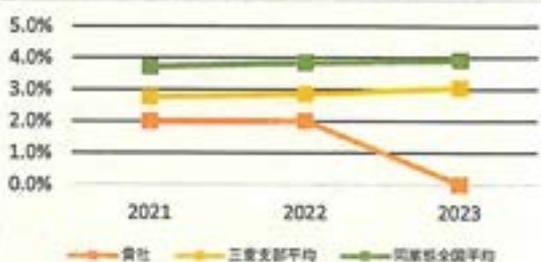
【喫煙のポイント】

- 喫煙は、がんをはじめ、さまざまな疾患の原因になります。喫煙量が増えるほどリスクが上昇するため、たばこに「適量」は存在しません。

②お酒を毎日飲む者の割合			
年度	✕ 貴社	三重支部 平均	同業態 全国平均
2021	32.0%	26.6%	36.6%
2022	34.0%	26.1%	36.1%
2023	38.1%	25.4%	35.3%



③飲酒日の1日当たりの飲酒量が3合以上の者の割合			
年度	✓ 貴社	三重支部 平均	同業態 全国平均
2021	2.0%	2.8%	3.7%
2022	2.0%	2.8%	3.8%
2023	0.0%	3.0%	3.9%



※質問票(飲酒量)で3合以上と回答した場合でも、質問票(飲酒)で「ほとんど飲まない」と回答した方は含まれません。

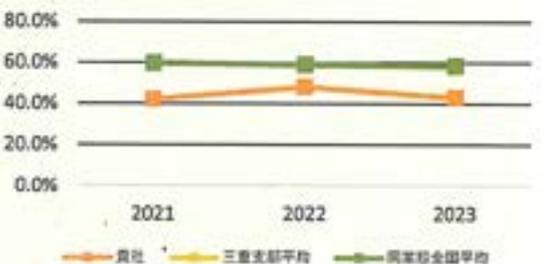
※日本酒1合の目安：ビール500ml、焼酎(25度)100ml)、ウイスキーダブル1杯(60ml)、ワイン2杯(240ml)

【飲酒習慣のポイント】

- 過度の飲酒はさまざまな生活習慣病の原因となります。お酒をたしなむときは、自分のペースを守り、「適量」を守ることが大切です。
- たとえ適量であっても、毎日飲むのはよくありません。週に2日はお酒を飲まない「休肝日」をつくり、肝臓を休ませることも大切です。

＜睡眠習慣＞

睡眠で休養が十分取れている者の割合			
年度	✕ 貴社	三重支部 平均	同業態 全国平均
2021	42.0%	59.8%	59.6%
2022	48.0%	58.8%	59.0%
2023	42.9%	57.8%	58.4%



【睡眠習慣のポイント】

- 健康を維持するためには、十分な睡眠を確保する必要があります。まずはしっかりと睡眠をとることが重要です。夜ふかしを控え、規則正しい睡眠をとりましょう。

【健康宣言事業について】

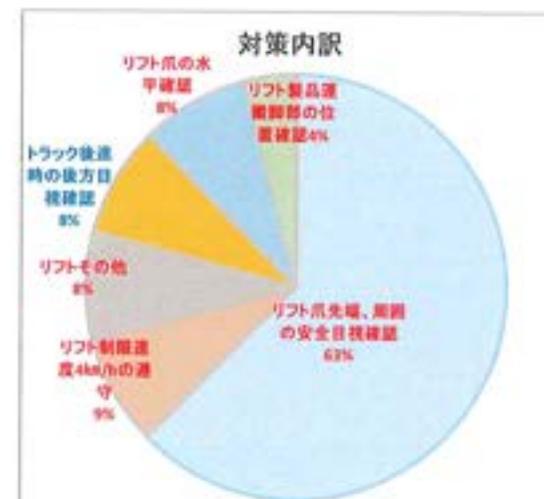
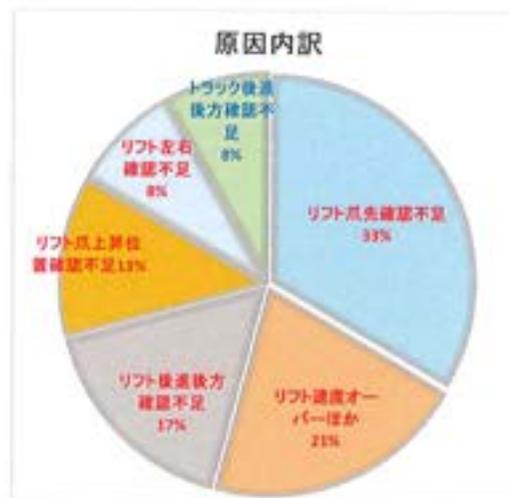
協会けんぽでは、事業主様と協会けんぽが連携して健康づくりに取り組む「健康宣言事業」を行っています。

健康宣言をしていただいた事業所（健康宣言事業所）様には、協会けんぽが健康づくりの支援（フォローアップ）を行っており、支援の一環として、事業所カルテを提供しています。

事業所カルテをご覧いただき、特徴の把握や健康づくりの取り組み方法等、ご不明な点がございましたら、是非、ご相談ください。協会けんぽと一緒に健康づくりに取り組みましょう。

2024年度 事故件数推移

2025年4月1日 管理部 西村



【職場別】

	2021年	2022年	2023年	2024年度
輸送	16	18	16	17
リフト	19	7	6	5
段ボール	0	1	0	1
他	0	1	0	1
合計	35	27	22	24

【原因】

原因	2024年度 件数
リフト爪先確認不足	8
リフト速度オーバーほか	5
リフト後進後方確認不足	4
リフト爪上昇位置確認不足	3
リフト左右確認不足	2
トラック後進後方確認不足	2
合計	24

【対策】

対策	2024年度 件数
リフト爪先端、周囲の安全目視確認	15
リフト制限速度4km/hの遵守	2
リフトその他	2
トラック後進時の後方目視確認	2
リフト爪の水平確認	2
リフト製品運搬脚部の位置確認	1
合計	24

『一呼吸置く』 『慌てない、焦らない』 『指差呼称する』

2025 年度春季清掃活動の取り組み報告（NTN 三重製作所内請負職場）

2025 年 4 月 2 日
ブルーカーゴ（株）管理部
衛生管理者 西村寿洋

これまで春と秋の年 2 回の地域清掃活動に合わせて、本社及び請負職場（NTN 三重）周辺の清掃活動を行ってまいりましたが、本年度春季活動として㈱NTN 三重製作所の周辺を当社請負職場従業員により、4 月 1 日（火）に清掃実施しましたので、結果報告いたします。

1. 活動内容

- ① 日時：2025 年 4 月 1 日（火）曇り 午前 9 時 40 分～午前 10 時 40 分
- ② 場所：A…㈱NTN 三重製作所軸受工場外周一部、第一熱処理工場外周
B…御衣野下野代交差点周辺 交差点までの歩道、当社員駐車場
C…NTN 駐車場及び歩道周辺
- ③ 参加者：ブルーカーゴ（株）業務部リフト課 7 名
福田有美（代表）、徳永一隆、馬上竜司、長谷川泰史、関谷正司、埴原晋、伊藤智美

＜清掃活動場所＞



2. 活動結果

ゴミの種類はペットボトル、空き缶、使い捨てマスク等 10 袋

3. 回収ゴミの処置

回収後に NTN 三重様指定のごみ集積所に廃棄

4. 今後の活動

地域貢献活動の一環として、今後も継続的に地域の美化及び環境対策に貢献していきます。

以上